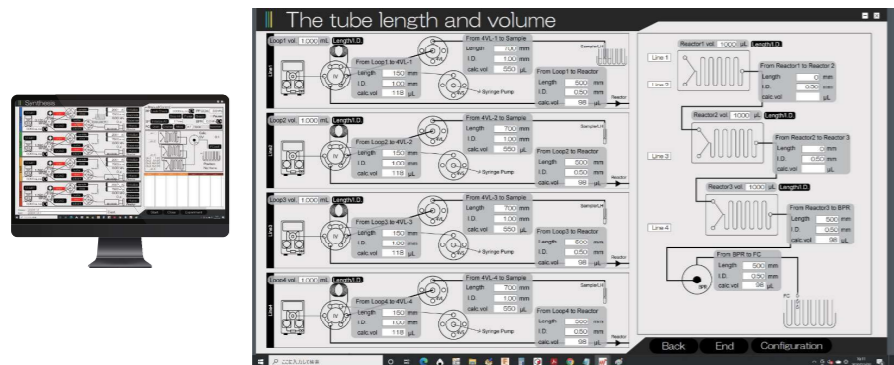


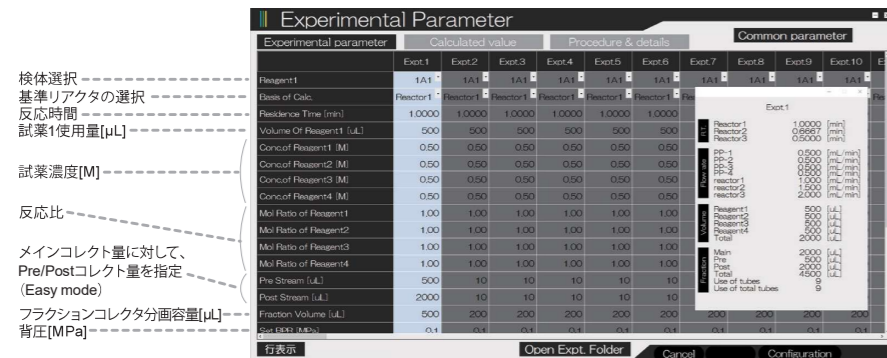
ソフトウェア (後半: 合成条件の詳細パラメータ入力)

■ バッチ合成の合成条件を参考に、試薬濃度、量、反応時間等の反応条件を入力



5. Componential parameter

リアクタ容量、Loop 容量、配管長を入力します。



検体選択
基準リアクタの選択
反応時間
試薬1使用量[μL]
試薬濃度[M]
反応比
メインコレクションに対して、
Pre/Postコレクション量を指定
(Easy mode)
フラクションコレクタ分画容量[μL]
背圧[MPa]

■ コレクションは、
Easy/Advanced modeから選択
可能。
創薬研究～プロセス検討まで
幅広いニーズに対応。

■ ターゲット生成物が合成完了。
少量多検体な合成に最適です。

6. Experimental parameter

詳細な実験値を入力します。

ドラフト内に設置可能な
コンパクトサイズ。



構成例 / 販売価格・スペック

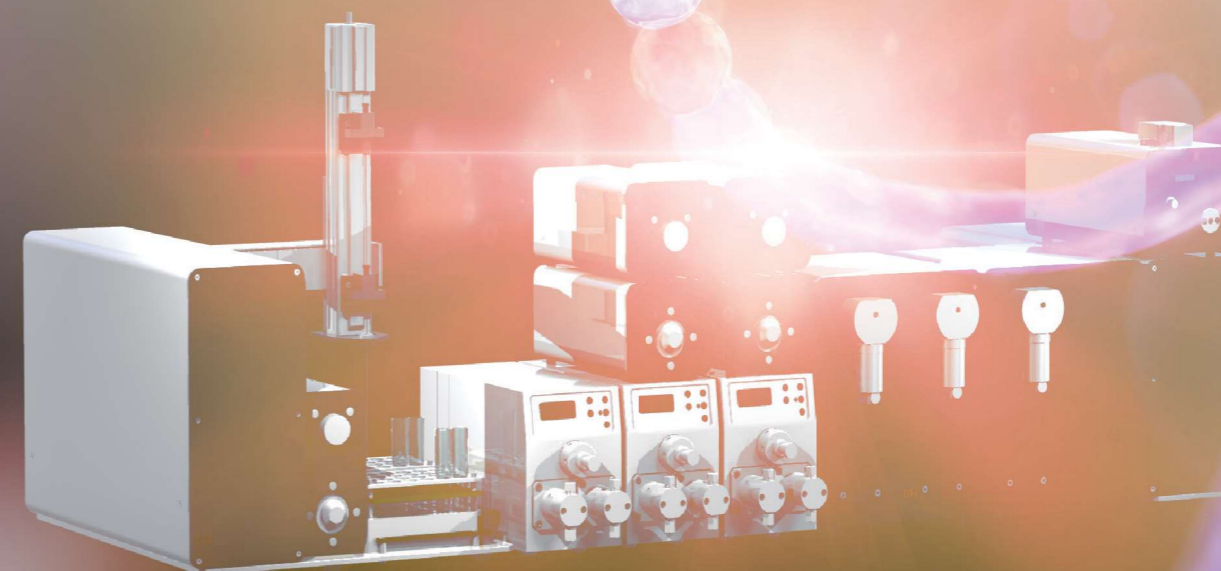
	3Line Sys C / Sys B / Sys B	2Line Sys B / SysB	2Line Sys A / SysA
プランジャーポンプ (PP)	3	2	2
インジェクションバルブ (IV)	3	2	2
自動背圧弁 (ABPR)	1	1	1
フラクションコレクタ (FC)	1	1	1
シリンジポンプ (SP)	2	1	-
1-4 方バルブ - シリンジポンプ側 (4VS)	3	2	-
1-4 方バルブ - サンプル側 (4VL)	3	-	-
リキッドハンドラ (LH)	1	-	-
制御 BOX	2	1	1
自動合成ソフト	1	1	1
装置サイズ	W1300×D650×H680mm	W650×D650×H680mm	W650×D650×H340mm
価格	1237 万円～	730 万円～	450 万円～

リアクタは別売り。

	仕様	備考
PP 流速設定範囲	0.01 ~ 9.999ml/min	反応時間から算出
試薬最小使用量	200 μL ~	
シリンジ - Loop 容量	2.5ml-1ml、12.5ml-5ml	
ABPR 設定範囲	0.1 ~ 1.5MPa	
LH	24well (標準)	特注ラック対応可
FC	試験管 72 本 (標準)	特注ラック対応可

少量多検体・ハイスループット
医薬品のシード探索に最適

OptimFlow
optimized for your synthesis



→ 自動合成装置が求められる背景

製薬メーカー 新薬の開発費用が年々膨大化し(主に人件費)、自動化が求められている

↓

既存の自動合成装置 ×高価 ×複雑で使い難い ×海外メーカー製

製薬メーカー4社、
ナード研究所との共同開発!

既存の自動合成装置の課題をクリア

OptimFlow



- 装置構成
最大で4ライン構成とする。
(4流路-3リアクタの3段反応である)
- サンプルラインのシステム
Sys A: マニュアルサンプリング
(手動でLoopに試薬導入。
IVにより計量)
- Sys B: SPIによるオートサンプリング
(4VS/4VLにて流路切替)
- Sys C: LHにより多検体合成が可能。

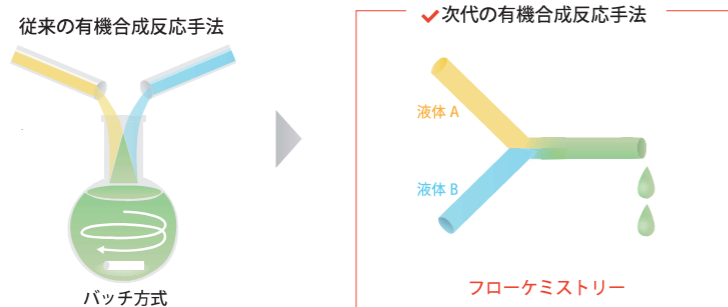
→ 装置概要

- 計算一切不要で、自動合成が可能です。
- 直感的な合成ソフトが付属します。
- 最大4流路・3リアクタ(3段反応)が可能です。

■ 試薬をセットし合成ソフトを開始すれば、必要な前処理・時間調整・洗浄等のすべてを自動で行います。



■ 試薬濃度、比率、反応時間などの条件を入力するだけで、そのままフロー合成に適用可能です。(計算は一切不要)



すべての化学者の手にフローケミストリーを

目指したのは化学者に使いやすいソフトウェア。
計算、プロセス工学、プログラミングなどの知識は不要。

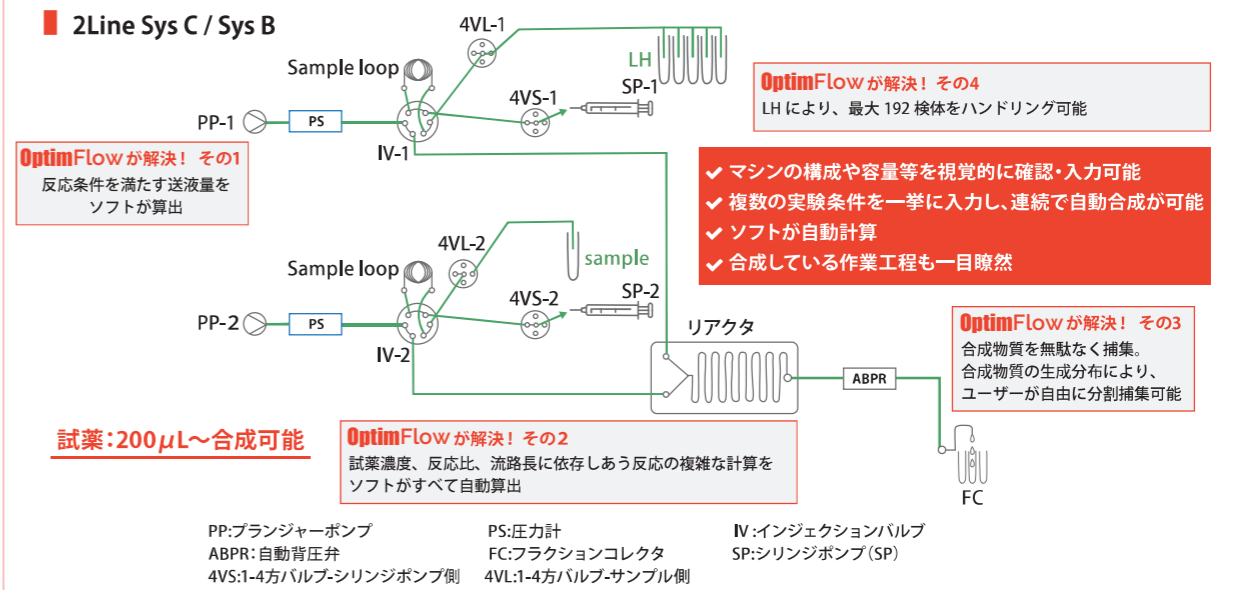


これまでのフローケミストリー装置の操作は、知識・ノウハウの塊で、有機合成が専門の研究者には手が出しにくいものでした。

計算値に基づき、装置の制御を行う必要があるが非常に複雑。

本装置では、反応条件を入力さえすれば、ソフトが複雑な計算を全て行う。

■ 2Line Sys C / Sys B



試薬:200μL~合成可能

直感的なソフトウェア (前半:合成パターンの選択)

■ ナビゲーションに従ってフロー合成の種類を選択



1. Launcher

2. The system

3. Componential parameter
The type of reaction

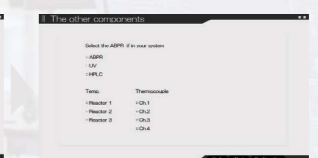
- Componential Parameter 入力
- Experimental Parameter 入力
- Synthesis (自動合成) を選択

各ラインの入替を行う。

反応タイプ
(ライン数/リアクタ数を選択)



4. Componential parameter
The components
各ラインのシステム
(Sys A / Sys B / Sys C) を選択。



5. Componential parameter
The other components
ABPR等のコンポーネントの選択